

平成 26 年 4 月 30 日

各位

会社名 株式会社ソフトフロント  
 代表者名 代表取締役社長 阪口 克彦  
 (コード: 2321、JASDAQ)  
 問合せ先 執行役員管理部部長 高野 誠一  
 (TEL 03-3568-7007)

**通期業績の前期実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ**

当社は、平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、特別損失の計上につきまして、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期通期個別業績（見込み）と前期実績との差異（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前期（平成 25 年 3 月期） 実績（A）	百万円 549	百万円 △107	百万円 △108	百万円 △110	円 銭 △12.01
当期（平成 26 年 3 月期） 実績見込み（B）	597	△207	△213	△247	△24.12
増減額（B－A）	48	△100	△105	△137	
増減率（%）	8.8	－	－	－	

(注) 当社は、平成 26 年 1 月 30 日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成 26 年 4 月 1 日付で株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

平成 26 年 3 月期は、通信事業者分野の受注が増加したため、通期の売上高が前期を上回りました。しかしながら、デジタルポスト関連事業の将来の収益拡大見込みを合理的に予想することが困難であるため、対応する販売目的ソフトウェアの減価償却費が増加したこと、また、後記のとおり、投資先であるデジタルポスト株式会社の財政状態等を勘案して投資損失引当金繰入額を特別損失に計上したことなどにより、通期の営業利益、経常利益、当期純利益及び 1 株当たり当期純利益が前期と比べ減少する見込みであります。

3. 特別損失の計上

平成 26 年 2 月 14 日付「(訂正・数値データ訂正)「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について」で既に発表したとおり、平成 26 年 3 月期第 3 四半期において、市場価格のないデジタルポスト株式会社の株式に対する投資損失に備えるため、健全性の観点から、投資先の財政状態等を勘案して投資損失引当金繰入額 35,000 千円を特別損失に計上しておりますが、平成 26 年 3 月期通期決算においてもこの状況は同様であるため、同額を特別損失に計上することに変更はありません。

なお、本件は平成 26 年 3 月期の計上であるため、平成 27 年 3 月期の業績に与える影響はありません。

(注) 上記に記載した当期（平成 26 年 3 月期）実績見込み等は、本資料の発表日現在における見通しであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、この資料に記載されている実績見込みとは異なる可能性があることをご承知おきください。

以上